

2021年7月4日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第64巻第14号(通算3242号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま ひととも
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅうじつれいはい
聖霊降臨節 第7主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちょさくけんしょうめつ
前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば てがみ しょう せつ
招きの詞 テモテの手紙 I 2章 4節

さんびか ばん かみ にほん きょうだんしゅうばんきょく
賛美歌 21-500番「神よ、みまえに」(©日本キリスト教団出版局)

せいしょ ふくいんしよ しょう せつ
聖 書 マタイによる福音書 7章 7-12節

いの
お 祈り
さんびか へいわ どうぐ
賛美歌 21-499番「平和の道具と」(©JASRAC)

おや う こ あた うしだ ただし ぼくし
メッセージ 「親から受けたもの、子に与えるもの」 牛田 匡 牧師

さんびか きょうどうたいさんびかしゅう じかん じゅうぶん
賛美歌『アイオナ共同体賛美歌集』「もし時間が充分にあったなら」(©JASRAC)

ユーカーリスト うしだ ただし ぼくし
聖 餐 牛田 匡 牧師

きょうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんびか ばん な ちょさくけんしょうめつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの
主の祈り

ささげもの
献 げ 物 (*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく うしだ ただし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん ちょさくけんしょうめつ
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こく ページ さんしょう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がごございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

神は、すべての人が救われて、真理を認識するようになることを望んでおられます。

聖書 マタイによる福音書 7章 7-12節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

7「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。叩きなさい。そうすれば、開かれる。8誰でも、求める者は受け、探す者は見つけ、叩く者には開かれる。9あなたがたの誰が、パンを欲しがる自分の子どもに、石を与えるだろうか。10魚を欲しがるのに、蛇^{へび}を与えるだろうか。11このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子どもには良い物を与えることを知っている。まして、天におられるあなたがたの父は、求める者に良い物をくださる。12だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」



《先週の礼拝より》6月27日 聖霊降臨節 第6主日礼拝

メッセージ「思い悩むな」より

水谷憲牧師

聖書：マタイによる福音書 6章 25-34 節

「スローライフ」という言葉が聞かれるようになって久しい。それはもともと、ハンバーガーなどの「ファーストフード」文化に対する批判から「スローフード」という運動——「生産者を搾取することなく、環境に負荷を与えることのない育て方をした食材で、もっと体に優しくておいしい物を」という食文化を目指す運動——が始まり、そこから、生活様式全般をも見直していこうという「スローライフ」となったもの。この資本主義社会、効率・高速社会にあって、スローライフなどと言っておれない人もいるだろう。もちろんそんなに簡単にできることではないが、楽しくやっていたら、きっと楽になってくる。

マタイ福音書の「山上の説教」の一部分、「思い悩むな（思い煩うな）」という箇所は、私たちは神と富との両方に仕えることはできないのだ、という教えからの続き。いつも金のことばかり考えて、下を向いて難しい顔で思い悩むな。喜びをもって神を見上げるのだ。私たちに必要なものであれば神はきっと備えて下さる。その信仰が私たちには必要なのだと、キリストは言う。

空の鳥をよく見よ。鳥でさえ何もしなくとも生かされているのに、日常的にあくせくと働いてがんばっている人間を神が放っておくはずがない。だから、思い煩うな。あれこれ思い悩んだところで、寿命が延びるわけではない。…でも「神に養われているにしても、自分で食べ物を取り必死に生きている鳥に比べて、プータローのオレなんて……」と思う人もいるかもしれぬ。それでは野の花をじーっと観察してみなさい。生きるために動き回ることもなく、働きもしない野の花をも、神はいつも美しく装って下さっているではないか。あなたはいのちを神に委ねておればいい。とにかくあなたが働いていようがまいが、神はあなたを大事に思っておられる。いちいち悩むな！神を見上げよ！

それでも、悩ましくてしんどい時はある。しかし「ゆっくり」「小さく」「継続できる」ことを大事にしながら、時々でも思い煩いから思い切って離れ、神に思いを馳せ、「笑って暮らし」「楽しんで生き」れるなら、それも立派な一つのスローライフの実践。神と共にあるそのようなゆっくりした生活を、時々でもいいからもっていきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (6月27日)

礼拝出席 大人6名 子ども1名 (中継動画再生数10回)

献金 大人8,000円 子ども100円 感謝

礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を大人5名と子ども2名で行い、130個のおにぎりをいこい食堂にお届けして、四角公園にてお渡しさせていただきました。ご支援・ご協力をどうもありがとうございました。

◎次週 2021年7月11日(日) 部落解放祈りの日(聖霊降臨節第8主日) 礼拝

招きの詞 詩編 119編 105-106節

聖書 マタイによる福音書 7章 15-20節

メッセージ「私たちの結ぶ実」水谷憲牧師

賛美歌 206番(©教団讃美歌委)、560番(©P.D.)、512番(©P.D.)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後には、7月期の「教会を考える会(役員会)」を行います。どうぞご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大阪府には「まん延防止等重点措置」が取られています(7月11日まで)。ご自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた医療現場の逼迫を防ぐためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただき、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。またご希望の方にはご自宅までお届けいたします。ご遠慮なくお知らせください。
- ・7月8日(木)19時から、11日の「部落解放祈りの日」直前礼拝が、インターネットにて開催されます(主催:日本基督教団部落解放センター)。パソコンやスマートフォンにてZOOMミーティングを開き、ID:9575280854と、パスコード:0081を入力の上、どなたでもご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
7/11	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	水谷牧師	部落解放祈りの日
7/18		岡嶋伝道師	聖書を読む会?
7/25		牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
8/1		水谷牧師	平和聖日・ユウカリスト

部落解放祈りの日 2021 直前礼拝 わたしとパウロと

使徒言行録 18:1~11 部落差別

メッセージ:三浦 遙さん(鳳教会牧師)

日本基督教団は、1975年7月14-15日開催の常議員会にて部落差別問題特別委員会の設置を決議し、教団としての部落解放の働きを正式に開始いたしました。この出発点を覚え、7月第2主日を「部落解放祈りの日」とすることを、教団部落解放センターは提案しております。

2016年12月に施行された部落差別解消推進法にもとづき、法務省は施行前過去3年間の部落差別に関する実態調査を行いました。法務省が受け付けた人権に関する相談は毎年400件以上、各地方自治体が把握した相談件数は年間2,000件を超えています。わたしたちの社会に差別がはかばかに深く蔓延しているのが分かります。「差別がなくなりますように」との祈りが今必要です。

今年は7月11日の主日が「祈りの日」にあたりますが、その直前にも時を定めて、みなさんと共に祈りを合わせたいと願います。ぜひアクセスしてください。

2021年7月8日(木) 19:00~

ZOOMミーティングにて

ミーティングID: 957 5280 854 パスコード: 0081

主催:日本基督教団 部落解放センター

〒574-0073 大阪府大東市緑が丘2-16-14 Tel. 072-875-8470 Email: hlc@ncc.or.jp